

# 令和 6 (2024) 年度函館市公共下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総 括 事 項

令和 6 年度の処理区域内人口は213,385人となり、前年度に比べ3,308人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は、前年度と同じ91.0%となった。

また、水洗化区域内戸数は134,802戸、水洗化済戸数は130,517戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.8%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

事業収益については、下水道使用料や他会計負担金の減少等により、前年度に比べ17,926,679円の収入減（0.2%減）となり、総額で7,618,796,456円となった。

事業費用については、企業債利息の減少等により、前年度に比べ26,349,058円の支出減（0.4%減）となり、総額で6,467,648,053円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ8,422,379円増加し、1,151,148,403円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、ポンプ場ほか遠方監視制御設備工事、南部下水終末処理場汚水処理施設電気計装設備工事等を予定どおり施行した。

なお、函館湾流域下水道事業費負担金で、9,889,000円が建設改良費の繰越額となっている。